



## I 管理業務等の体制及び実施状況(管理業務及び自主事業)

### 1. 人員配置計画

館長：1名 常勤：1名 非常勤職員：5名 夜警職員（非常勤）：2名

館長は全体の管理責任者として、センター施設管理と講座事業、自主事業を管理しました。

勤務体制は常時 3～4 名（日曜日は 2～3 名）平均で交代勤務制としました。状況に合わせて、自主事業の展開や来館者が増員した場合は非常勤スタッフを増員配置して対応致しました。

防火管理者については、館長を防火管理者として配置しました。

### 2. 施設の維持管理

#### (1) 建物の維持補修に関する点検方法

法令に則した点検の必要項目を明確にし、法令規格の遵守・無駄・無理・不良の点検を行い、点検業者からの点検報告は適宜市主管課へ報告しました。また、エレベーターは月 1 回の点検業者の点検報告を確認し、日々の巡回においても注意を払いました。なお、令和 4 年度は 3 年に一度の特定建築物定期点検を実施しました。

\*別紙① 令和 4 年度施設保全定期点検・維持管理報告、特別点検・修理修繕報告 参照

#### (2) 機器保全策

施設運営に必要不可欠な重要設備を把握しました。過去の保全・劣化経緯を明確にした後、現在の機能維持に不可欠な保全を重点施策としました。市主管課および関連部署による保全策実行にあたっては、施工業者がスムーズに工事ができるよう立ち合いも含め協力しました。

#### (3) 危険防止・修繕について

利用者の安全や安心を確保し続ける事が、安定したサービスを提供する基礎となります。特に子どもたちは、施設内にある「地域活動支援センター虹」の利用者を含め幅広い利用があるため、大人が想定していない遊びや行動から事故につながる事もあります。職員の日々の問題意識を高く持ち大事故につながる要因を未然に防ぐため、適正な導線・備品等の配置・整理整頓を心掛け、管理を徹底しました。

① 毎年度の繰り返しの訓練からより迅速な行動を身に付けるために令和 4 年度も自衛消防訓練を実施しました。Ⅶその他管理の実態を把握するために必要な事項に後述。

② 危険箇所を発見したときには、迅速に危険箇所に注意書きを掲示し市主管課担当者に報告し相談の上で対応をしました。令和 4 年度は、タイルの剥がれがあり昇り降りに危険であった玄関横東側階段の修繕をしていただき、安全確保に努めることができました。

③ 修繕箇所はいつ、どのように修繕が必要になったか、どのような対処を行ったかを業務日誌他に記録を取りました。

\*別紙① 令和 4 年度施設保全定期点検・維持管理報告、特別点検・修理修繕報告 参照

#### (4) 清掃及び環境衛生管理

- ・市主管課の指示による新型コロナウイルス感染拡大防止策を来館者に周知し継続して実施しました。
- ・美観や空気環境（におい、温度、湿度）特に、受付・トイレの美観は留意項目として日常重点的に対応しました。清掃に必要な薬剤等は床材の品質に合ったものを使用し、健康に留意し必要最低限の使用に制限しました。
  - ①新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ドアノブや備品の消毒を随時行いました。クリーンキラーエース（次亜塩素酸水溶液）・アルコール消毒液を使用し、日常消毒に努めました。
  - ②施設内の清掃を毎日行い、日々衛生的な環境を整え、室内のゴミ、ほこり、水回り、トイレについては、職員が巡回点検を行い、常に清潔に保ちました。
  - ③上記消毒液を活用し、手洗いを徹底し、感染防止に努めました。
  - ④トイレをきれいに使って頂けるよう利用者に注意を呼びかけました。
  - ⑤1F ロビー、2F フリースペースに観葉植物の植木鉢を設置しました。また、グリーカーテンを正面玄関左横に設置しました。今回はフーセンカズラを植え、来館者にも好評でした。

#### (5) 保安警備

##### ① 保安警備

閉館中の警備上の問題は発生しませんでした。夜間の警備は機械警備となっていますが、警報の発報はありませんでした。異常が発覚した場合は責任者と職員に連絡が入る体制を整えました。

##### ② 鍵の管理

職員全員が鍵の保管・管理について責任を持ち、鍵の紛失・破損をしないよう徹底しました。また、貸出表を作成し、鍵の所在を明確にしました。

## II 決算状況等及び施設の利用実績

・決算収支状況

\*別紙② 令和4年度収支決算書 参照

・施設の利用実績

\*別紙③ 令和4年度福祉センター会議室施設月別利用状況 参照

\*別紙④ 令和4年度生きがいセンターとくら月別利用状況 参照

### Ⅲ 従業者育成にかかる研修実施状況

- ・事業所職場内における研修は以下の内容で実施しました。

令和4年度 実施研修一覧

月日	研修名（事業所内）	内容
4/4	マナー・接遇研修	接遇マナーの5原則についての研修を具体的事例をまじえて学習。
5/16	個人情報保護について	取得・利用、保管、提供、開示への対応の守るべき4つのルールについて学習
7/15	食中毒・アレルギーについて	食中毒・食物アレルギーの基礎知識について学習
8/19	苦情対応研修	苦情対応の手順に従い各段階でやるべきことの確認
9/9	通報訓練	9/1 防災の日を踏まえ、11月消防訓練に備えた通報訓練
10/19	認知症・障がい者対応について	認知症の学習と対応方法と障がいを持った方々への対応の基本と障がい種別ごとの基礎知識。
11/18	避難誘導他消防訓練	11/22の消防訓練に向け各自の役割の確認と自衛消防行動の確認。
1/20	ハラスメント防止研修	セクハラ・パワハラの実例に基づく防止研修。
2/15	利用者アンケートと今後の対応	利用者アンケートの内容の共有と今後の改善への取組みについて。

- ・国分寺市や外部団体で行われている外部研修については、令和4年6月29日と令和5年2月20日に開催された国分寺市地域福祉推進協議会を研修として捉え参加しました。その中で紹介された市内の事業者の参考となる取組み事例は事務所職員と共有しました。また、グループ討議のなかでは他の事業者と意見交換ができました。
- ・リスクマネジメント研修など本部主催の集合研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。

### Ⅳ 利用者意見及び自己評価（利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価）

- ・「利用者協議会」は「福祉センターまつり」の話し合いが中心となって実施されてきました。更に「センターの運営」の改善を図るための協議会とすることも目指しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から協議体が中止となり、実施されませんでした。なお、次年度に向け利用者協議会役員会を開き、感染防止策の緩和が進んだ令和5年3月より「利用者協議

会」の開催および「福祉センターまつり」を実施する方向で、各団体へ働きかけることとしました。

・令和4年12月に利用者アンケートを実施しました。

\*別紙⑤ 国分寺市立福祉センター・生きがいセンターとくら施設利用者アンケート集計結果参照

・指定管理者の自己評価

\*別紙⑥ 事業実施状況指定管理者自己評価票 参照

## V 苦情対応に係る記録

・令和4年度は苦情認定としたものは福祉センターで0件、生きがいセンターとくらで0件でした。

\*別紙⑦ 令和4年度指定管理者 苦情受付・対応件数報告書参照

## VI 事業計画書に掲載した計画の実施状況

### 利用者増のための取り組み

#### 福祉センター・生きがいセンターとくらの共通の取り組み

##### (1) センターの活動や取り組み及び地域の情報発信

福祉センター・生きがいセンターとくらで取組む企画の告知を、センター内の掲示板や「とくらかわら版」などで発信しました。企画内容も一度に多数集まる企画ではなく、ロビーでの展示形式を中心にしたものとしました。来館者もロビーに立ち寄り、福祉センター・生きがいセンターとくらの活動を知っていただくことができました。また、地域の様々な活動の情報発信の場として掲示板や国分寺市報等を収納するラックが利用者にも有効に活用されるよう工夫しました。

##### (2) 自主サークルや自主活動の設立支援

地域生きがい交流事業講座終了後、自主サークル立ち上げを側面的に支援することを目指しました。次年度継続しない講座で要望の多い講座については令和5年度より、自主サークルの立ち上げの前段階として自主事業の講座を開講します。

##### (3) 地域の関係各機関との連携

国分寺市立第十小学校、シルバー人材センター、社会福祉協議会、地域包括支援センター、けやきの杜、各種行政機関、近隣福祉施設、東京学芸大学や東京経済大学などと連携・交流を図る予定でしたが、上記各機関の内、シルバー人材センター、社会福祉協議会、けやきの杜にはセンター内の行事にご協力いただき、また、国分寺市立第十小学校には、ハロウィンイベントやロビーで2回目の「新春書初め展」の出品にご協力いただきました。

① 国分寺市社会福祉協議会法人会員

令和元年度より社会福祉協議会の法人会員となり継続して令和4年度も会員となりました。社会福祉協議会発信の情報は出来るだけ共有し、電話や窓口での対応がスムーズにできるよう努めました。同じ館内に事務所があることから、空いている会議室の問合せおよび貸出しの依頼や、掲示物の依頼に協力しました。また、事務所内の軽微な修理等についても対応しました。

② シルバー人材センターへの業務委託と会員増加への協力模索

引き続き地下1階の清掃業務を委託し、シルバー世代の職業支援への協力をしました。また、会員増加に向けた協力を模索する中でシルバー人材センターからのポスター掲示依頼等は協力しました。

③ 戸倉自治会との連携、自治会入会

令和4年度の自治会主催のイベント（夏祭り等）が中止となり、また、会議体、会合なども制限されていることもあり、自治会入会はしませんでした。年度末に感染防止策の制限緩和が進んだことから自治会入会を申し出ましたが、新年度からということで令和5年4月に入会する予定です。

④ 民生委員・児童委員との連携

新型コロナウイルス感染拡大防止策の継続のため、各行事などの取り組みを中止せざるを得ず、民生委員・児童委員との連携は行いませんでした。

⑤ 国分寺市地域福祉推進協議会委員推薦と参加

令和4年度も当センター代表として館長が推薦の下で委員となり、会議に参加し他事業所会員との有用なコミュニケーションを図ることができました。

**福祉センターの取り組み**

(1) 各イベントを自主事業イベントも含め積極的に推進

① 福祉センターまつり

新型コロナウイルス感染拡大防止策が継続しており令和4年度の開催については中止となりました。

② けやきフェスタ

福祉センターまつり同様、けやきの社主催の「けやきフェスタ」についても中止となりました。

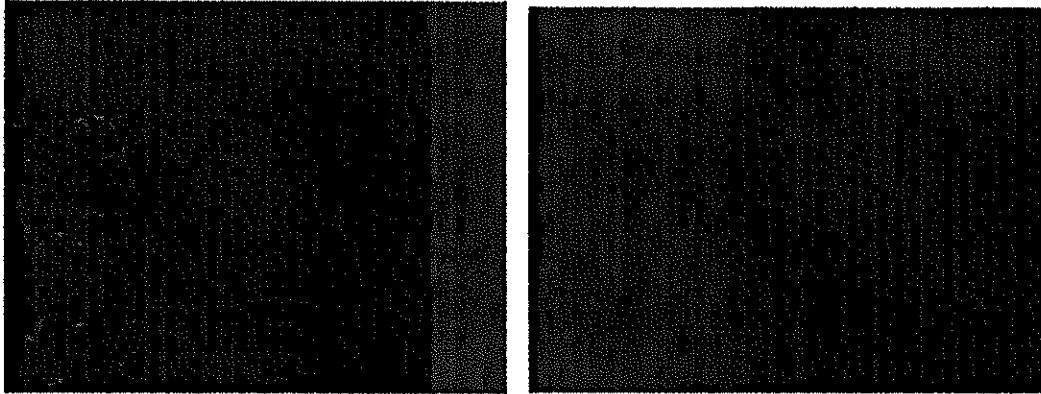
③ とくらカフェ「ARUKOT」：毎週金曜日、その他ニーズに応じてロビーの活用

令和4年度は9月よりとくらカフェを再開しました。9月は9日の1日と10月からは3月まで毎週金曜日に合計25回実施し、689人の方にご利用いただきました。久しぶりの再開ということで好評を得ました。また、館内勤務者のニーズを捉え新メニューの提案も行い、社会福祉協議会のフェイスブックに掲載していただきました。ロビーの活用では、ロビーコンサートを5月20日にハーブの演奏会を2部構成で行い40名の方に聞いていただきました。

④ みんなの食堂

令和4年度は前年度と同様に「みんなの食堂」の代替活動としてのお弁当のテイクアウトを実施する計画でしたが、10月30日にハロウィンイベントの一環として同じ当法人の運営する富士本地区の事業所と協力し、感染防止策を講じた上で地域食堂を実施しました。地域の

子ども達を中心にご家族や福祉センター利用者等延べ128名の方に参加していただき、多世代交流が図れました。



⑤ 国分寺市立第十小学校 6年生対象福祉学習教室

新型コロナウイルス感染拡大防止策が継続しており令和4年度は実施しませんでした。

⑥ その他、子どもたち対象の行事

新型コロナウイルス感染拡大防止策が継続しており行事等は中止しましたが、「新春書き初め展」につきましては前年から継続して第2回目を1月12日から29日に展示発表しました。

(2) 高齢者の活躍の場への支援とボランティアコーディネートへの取り組み

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策が継続している中、各行事の中止に伴いボランティア参加の働きかけは行いませんでした。
- ・高齢者の活躍の場を拓げるために、任意講座を開催するなどの取り組みを目指しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止策が継続しているため取り組みはできませんでした。

**生きがいセンターとくらの取り組み**

地域高齢者の憩いの場として、囲碁・将棋及び電位治療器の運営を継続して行いました。個人利用の囲碁・将棋は感染予防策を講じた上で利用していただきました。貸し部屋については高齢者団体、高齢者福祉を目的とする団体に貸出もできるようになっていましたが、令和5年2月からは公共施設予約システムでの予約が可能となりました。公共施設予約システム導入に至るまでは、市主管課と連携し、登録団体がスムーズに予約できるように丁寧に対応しました。

(1) 地域生きがい交流事業

令和4年度は下記講座を計画の通り開講し、期ごとに発表会を実施しました。

- (水)「四季の歌声」      (木)「わくわく運動」  
(金)「脳トレ運動」      (金)「公代さんのストレッチ体操」

- ・第1期：延べ開講数46回・延べ参加者数649名
- ・第2期：延べ開講数46回・延べ参加者数680名
- ・第3期：延べ開講数43回・延べ参加者数814名

#### <令和4年度発表会>

・期ごとの発表会については、福祉センターを発表の拠点にして他の生きがい3センター（こいがくぼ・ほんだ・ひかり）を含め1階ロビーにて実施しました。生きがいセンターとくら4講座に加え、同こいがくぼ4講座、同ほんだ3講座、同ひかり4講座の計15講座分を集積して実施しました。文科系講座の作品の展示、全講座の受講風景の写真や受講生の一言メッセージを入れ展示しました。また、体験や発表のコーナーを設け、多くの方に講座を知っていただく機会を作りました。当初、第3期は生きがいセンターもとまちと、にしまちとの合同展示交流発表会をひかりプラザで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったため、生きがいセンターとくらと同生きがい3センター合同の交流発表会を、生きがいセンターとくらと福祉センターロビーで開催しました。

・第1期：7月23日～30日　　・第2期：11月20日～30日

・第3期：3月15日～25日（展示期間）3月25日（交流発表会）

\*各期においては、四季の歌声のコーラス発表会、体験・発表コーナー（1期：ハワイアンダンス・書道教室・季節の折り紙・太極拳　2期：公代さんのストレッチ・わくわく運動・ハワイアンダンス　3期：セルフケア整体・絵画教室）を実施しました。

また、3期については、講座の様子をまとめた記念冊子を作成し、受講生全員に配布しました。

#### ①介護予防事業

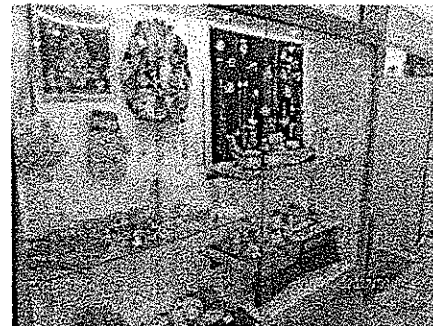
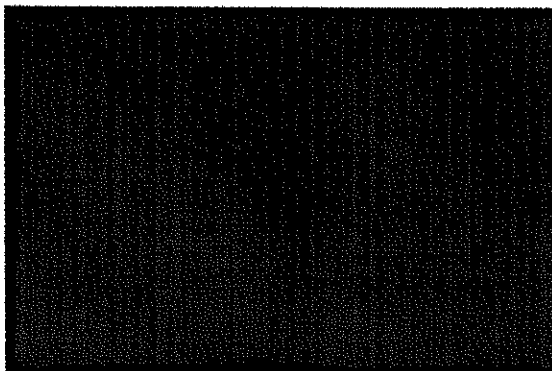
令和4年度は認知症予防体操（パドル体操・スマイル体操合体）と名称変更して毎月1回定期的に実施しました。

・毎月1回、年12回の実施：延べ参加者数54名（月平均：4.5名）

#### ②敬老月間行事

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1度に多くの人数が集まらないような企画として展示発表会形式の「自慢の作品発表会」（高齢者対象）を開催しました。利用者の方や地域の方にご自慢の作品等を出品して頂き、福祉センター1Fロビーに9/1～9/30まで展示しました。

参加者は、団体：11団体　70名、個人3名の計73名の方に出品していただきました。発表の機会を設けたことで出品者に喜んでいただきました。また、出品者及びアンケートを実施し協力いただいた方に粗品を配布しました。





## (2) 自主事業

### ① エンジョイライフスタディ講座を開講

- ・最初は7講座でスタートしましたが、6月からは、初心者向けの英会話の講座として、「Hello English」の講座を設け、全8講座を実施いたしました。
- ・後期の3月には、記念冊子を作成し受講生に配布しました。
- ・講座名、開講数、参加者数は以下の通りとなりました。

〈前期〉 総延べ開講数 88回 総延べ参加者数 754名

デッサン：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 108名
ビクターさんの英会話：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 75名
マジック：	延べ開講数 10回	延べ参加者数 136名
火曜日のヨガ：	延べ開講数 11回	延べ参加者数 105名
笑いヨガ：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 86名
Hello English：	延べ開講数 8回	延べ参加者数 72名
3B体操：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 43名
土曜日のヨガ：	延べ開講数 11回	延べ参加者数 129名

〈後期〉 総延べ開講数 93回 総延べ参加者数 849名

デッサン：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 90名
ビクターさんの英会話：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 95名
マジック：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 143名
火曜日のヨガ：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 143名
笑いヨガ：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 82名
Hello English：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 76名
3B体操：	延べ開講数 9回	延べ参加者数 61名
土曜日のヨガ：	延べ開講数 12回	延べ参加者数 159名

〈前期〉 + 〈後期〉 総延べ開講数 181回 総延べ参加者数 1,603名

### ② ハロウィン企画〈仮装作り・マジックショー・介護ネイル〉\*「地域食堂」とコラボ

・7ページ(1)④ みんなの食堂を参照

### ③ 初心者の為の英会話（無料体験）

- ・英会話に興味のある初心者を対象に2回開催しました。5月12日(12名)と19日(10名)合計22名が参加しました。

## VII その他管理の実態を把握するために必要な事項

### 1. 経費削減への取り組み

節電・節水による光熱水費の節約、備品の破損などをなるべく起こさない指導、日常のメンテナンスの徹底を心掛けました。特に電気については夏・冬場の冷暖房スタートを遅らせるなど節電に努めた結果、令和3年度 29.8万Kw→令和4年度 25万Kwと削減できまし

た。しかしながら、燃料費の高騰により金額の削減はできませんでした。

## 2. 環境への配慮

施設の環境面の管理（園芸・清掃等）は職員も行い、施設に愛着を持ち、安全など確認しながら管理できるように運営しました。また、館内美化を職員間で徹底、利用者にも協力を呼びかけ、使用する備品は詰め替えや再利用ができるものを使い、資源の再利用を心がけ、ゴミの分別・リサイクルを徹底しました。

## 3. 災害時への対応

令和4年度も自衛消防訓練を国分寺消防署戸倉出張所署員の指導の下、以下の通り実施しました。

日時:令和4年11月22日 場所:国分寺市立福祉センター

実施内容:2階料理実習室から出火した想定で火災時の避難および通報訓練を実施

避難訓練終了後、消火器扱い方訓練、消火栓・AEDの操作説明

参加者:福祉センター職員、社会福祉協議会、シルバー人材センター、地域活動支援センター虹の各職員および利用者で合計28名が参加しました。

## 4. その他

①令和4年度定期監査（10月14日現地調査、11月9日監査）が実施されました。

指定管理者に対する特段の指摘はありませんでした。

②令和5年2月より新しく公共施設予約システムがスタートしましたが、職員の研修、利用団体への説明会等市主管課と連携しながらスムーズにスタートできるよう努めました。利用者からの問合せ、操作手順などについても丁寧に対応しました。

## 令和4年度の総括

指定管理者2クール目の4年目となりました。8年間の活動経験を踏まえ、9年目である令和4年度は新型コロナウイルス感染の収束を見据えて各事業を計画しましたが、感染拡大防止策が継続し中止せざるを得ない事業も発生しました。しかしながら、それに代わる事業として1階ロビーを活用した事業等は、参加者および周辺の方々に加え施設利用入館者にも喜んでいただいたことで、交流の場としての役割を多少なりとも果たせたと思います。個人の自主性による感染防止に移行した令和5年度以降は、今まで以上に行政、関係団体、地域の皆様と協力し、福祉センター・生きがいセンターとくらの役割を果たしていきたいと思っています。

令和5年5月30日